

児童発達支援事業 事業所における自己評価結果(公表)

令和6年3月5日

事業所名:花ノ木児童発達支援センター 児童発達支援事業 おひさま

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	1		場所により、クラス全員の子ども・職員が入ると手狭なことがあり、適切なスペースが確保できるように空間の使い方を工夫しています。
	2 職員配置数は適切であるか	7	3		利用児の状況やコンディションによって、実質必要な人員配置数が変わるため、柔軟に対応できるようにしています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9		1	バリアフリー化された施設であり、構造化された環境設定については、利用者が分かりやすいように、区切り方などを工夫しています。活動部屋から連絡がとりやすいよう、内線やワイヤレスインターホンなどの配置を検討しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10			職種・雇用条件に関わらず、目標設定・振り返りには、ほとんどの職員が何らかの形で意見を出し、関与できるようにしています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			所内研修、外部研修など、できるだけ設定しています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10			保護者への聞き取り、子どもの状況などの情報を持ち寄り、客観的評価をもとに支援計画を作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	2		適応行動状況をはかるための詳細なアセスメントシートを作成し使用しています。行動評価、アセスメントシートの使用について、全職員で確認しながら進めていきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1		クラス担当のメイン職員を中心に、チームで立案、振り返りを行っています。職員会議で定期的にプログラム立案参画について確認を行っています。
※	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1		利用児が楽しく過ごせることを第一に考えて活動プログラムを設定し、新しいことも随時取り入れていますが、クラスによっては、あえて固定のプログラムを続けることで、安心感に繋げる工夫をしているところもあります。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10			

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1		
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	9	1		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10			
	23 通園児の医療に関して地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10			
	24 通園児の医療に関して主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	2		年度初めに保護者よりかかりつけ医、花ノ木医療福祉センターの主治医を確認し、医療上の配慮が必要な場合は、連携できるようにしています。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	1		南丹保健所主催の発達障害児はぐくみ事業に参画し、地域の療育機関、圏域の発達支援センターと連携会議やケース検討を行っています。
	28 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	2	1	地域の支援機関の連携会議に係長が出席し、地域の子育て事情、特別支援のあり方を把握し、児童発達支援センターとしてできることを発信しています。現場職員にも周知をし、積極的に地域と関わる意識を高めます。
	29 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			
	30 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10			年長児クラスに、クラスの状況に合わせたプログラムでペアレントトレーニングを実施しています。年中児以下の学年クラスについては、保護者交流会の中で、発達障害や特性理解の学習会を行いました。
保	31 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			
	32 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10			春季・秋季に懇談を設定し、目標の提示と説明、振り返りを行い、保護者の方に同意をいただいています。
	33 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			相談希望を申し出て下さった保護者、報告の中で職員に相談して下さった保護者には、必要に応じて、事業所内相談支援を実施しています。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	34 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	3	1	保護者会の設立は強制せず、保護者同士、緩やかな連携が図れるように、保護者交流会なども設定しています。価値観の多様化により、保護者同士の交流や連携を望まない保護者もおられ、個々のニーズに合わせた柔軟な対応を検討しています。
	35 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			
	36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			
	37 個人情報の取扱いに十分注意しているか	10			
	38 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			
	39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	4	1	情報発信事業等、地域の支援者、保護者に向けた発信は積極的に行っています。地域行事等は、併設する花ノ木医療福祉センターと合同で取り組んでいます。
非常時などの対応	40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	1		
	41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10			
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10			保護者から聞き取りを行い、状況確認・体調のチェックを実施しています。必要に応じて、主治医との連携も図っています。
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10			保護者に医師の指示書を提出していただき、週ごとに献立を確認していただいています。
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10			
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10			
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10			